

よしかわ

News from Yoshikawa City Council

議会だより

No.199

2023.11

発行：吉川市議会
編集：吉川市議会広報委員会
〒342-8501 吉川市きよみ野一丁目1番地
TEL.048 (982) 9421 (議会事務局 直通)
FAX.048 (981) 5392
<http://www.city.yoshikawa.saitama.jp>



目次CONTENTS

定例会概要・決算	2
決算討論	4
委員会審査概要	6
答えて市長！一般質問	8
請願	13
審議結果	14

議会だよりが
スマートフォンでも読めます

マチイロ

検索



9月定例会 概要

令和4年度決算を認定

令和5年9月定例会は、9月1日から9月22日までの22日間の開催となりました。

今回の定例会では、令和4年度一般会計決算の認定をはじめ、令和5年度吉川市一般会計補正予算（第4号）などの市長提出議案19件（2～5ページ）、請願1件、議員提出議案として1件の意見書などを審議し、議決しました。（審議結果は14～15ページ）その他、「市政に対する一般質問」（8～12ページ）をお知らせします。



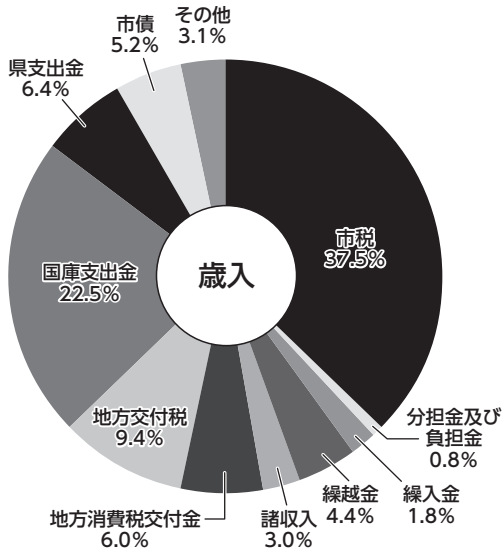
◆一般会計

令和4年度一般会計決算は、歳入が27億1,379万9千円、歳出が25億8,329万8千円となり、前年度比は、歳入総額は12億4,171万8千円（4.4%）、歳出総額は13億3,921万8千円（4.9%）の減少となりました。

歳入は、子育て世帯への給付金給付事業の終了に伴い、「国庫支出金」が9億7,333万7千円減少しました。一方で、新型コロナウイルスの影響を受けた中小事業者の固定資産税・都市計画税の減免終了により「市税」が4億3,331万6千円増加しました。歳出は、農業経営拡大・発展等支援事業者等の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業等により「農林水産業費」が6億1,863万3千円増加しました。

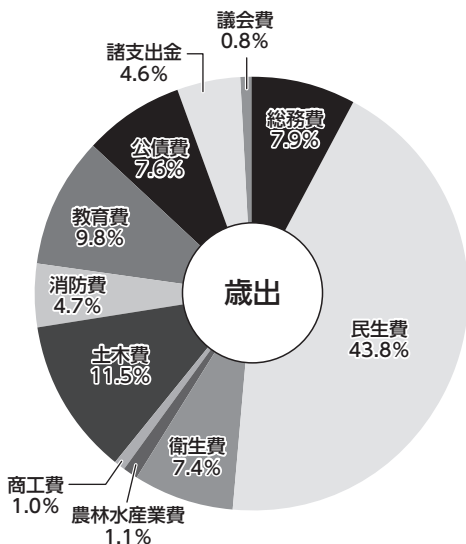
歳入

区分	決算額(千円)	対前年度比(千円)
市税	10,162,459	433,316
分担金及び負担金	210,895	△3,902
繰入金	496,589	268,962
繰越金	1,183,316	274,476
諸収入	804,541	118,685
地方消費税交付金	1,616,442	97,230
地方交付税	2,550,828	174,341
国庫支出金	6,099,023	△973,337
県支出金	1,740,019	39,039
市債	1,399,318	△824,706
その他	850,369	△845,822
歳入合計	27,113,799	△1,241,718



歳出

区分	決算額(千円)	対前年度比(千円)
総務費	2,029,219	26,004
民生費	11,305,794	△546,537
衛生費	1,913,162	4,890
農林水産業費	289,140	61,863
商工費	253,458	2,878
土木費	2,971,292	△292,198
消防費	1,202,296	25,791
教育費	2,520,645	△44,290
公債費	1,954,923	8,620
諸支出金	1,188,005	△590,279
議会費	205,049	4,040
歳出合計	25,832,983	△1,339,218



PICK UP

令和4年度決算に対する議案質疑の中からいくつかご紹介します

公園の整備と管理

問 新たに実施した工事の内容を教えてください。

答 整備後約30年経過している吉川第一土地区画整理地内の公園を中心に、遊具やベンチの更新を進めるとともに、利用のニーズに対応するため、スケートボードやバスケットボールで注目されている「アクアパーク」の駐車場を整備しました。



自治会活動の支援

問 自治会加入率が令和2年は68・10パーセント、令和3年は66・52パーセント、令和4年は63・44パーセントと減少を続けていることを、市はどのように認識していますか。

答 自治会は、地域の防犯

や減災、福祉など地域コミュニティの中心的な役割を担っています。加入者が減少していくことは地域コミュニティの形骸化や地域力の低下につながりかねないものと認識しています。

問 同意を得た転入・転居者の連絡先を自治会長へ提供しているとのことですが、加入率の減少が深刻化しています。紹介の方法に工夫が必要ではありませんか。

答 転入の手続きの際に、所属自治会の紹介や自治会長の連絡先を掲載した配布物をお渡ししています。また、不動産関係団体とも協定を結び、加入の促進を図っています。

ふるさと納税の増加

問 令和4年度の寄付者数は1698人、寄付金額は6861万8千円と、ともに大きく増えています。主な要因は何が考えられますか。

答 返礼品提供事業者の増加に伴い返礼品の種類が53品

増えました。また、新たなふるさと納税サイトへの掲載で、多くの方へ特産品を発信できたことが要因の1つだと考えられます。



庁舎の電力を再生可能エネルギー100パーセントに

問 市庁舎で使用する電力を再生エネルギー100パーセントとしました。どう評価し令和5年度につなげましたか。

答 環境負荷の低減と経済性の両立が課題ですが、脱炭素社会の実現に向けて、市が率先実行の姿勢を示すことができました。令和5年度は市から排出されるごみを活用した廃棄物発電で、エネルギーの地産地消を実現しています。



特別会計・企業会計決算

(単位：千円)

会計名	歳入(収入)	歳出(支出)
国民健康保険	6,865,286	6,685,302
農業集落排水事業	37,790	35,861
介護保険	4,369,524	4,314,087
後期高齢者医療	868,194	853,344
吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業	4,274,091	4,133,502
下水道事業※	収益的	1,543,100
	資本的	677,140
水道事業※	収益的	1,576,953
	資本的	105,417

*資本的収入が資本的支出に不足する額は、過年度分損益勘定留保資金等で補てん。

◆特別会計・企業会計
特別会計は特定の目的の事業を行うために、一般会計とは別に設置された会計のことです。
皆さんの健康保持に欠かせない国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療の各種事業のほか、生活排水を浄化して住みよい環境を維持するための農業集落排水事業や吉川美南駅東口周辺地区のまちづくりを行う土地区画整理事業があります。

企業会計は、市が経営する企業の会計のことです。日々の生活には欠かすことのできない水道事業や下水道事業があります。決算は左表のとおりです。

決算討論

〔一般会計〕

一般会計決算に対し、4名が討論をおこないました。



― 反対討論 ―

日本共産党吉川市議員団

遠藤 義法 議員

市民の満足度調査結果から決算内容を検証します。「市民意識調査」の満足度では、公共交通の充実が0ポイント、浸水被害の軽減は0・4ポイント、道路整備はマイナス0・05ポイントでした。公共交通では、タクシー利用料金助成制度を実施していますが、市街化の方々に支給していません。事業をほじ

めた平成29年度以降も満足度は上がっていません。公共交通の施策が不十分です。浸水被害の箇所はいつも同じです。緊急に冠水対策をとる必要がありますが、事業の方向性が定まっています。生活道路の整備要望は切実です。市民に計画を知らせて実施していく、「見える化」が大事です。しかし、市は実施する姿勢がありません。

職員意識調査結果からも、早期退職者の増加傾向や仕事に取り組み意識の低下が見受けられます。組織の在り方や研修を強化し、市民の負託に応える職場環境にすべきです。



― 賛成討論 ―

市民の会・無所属

伊藤 正勝 議員

認定の理由。想定外のコロナ対策について総体として適切に取り組んでいること。ワクチン接種を始めPCR検査、救命救急の活動。市民生活や経済活動への支援。電気料金の値上がり等物価高への対応も。全庁あげての取り組みで多岐に渡る通常業務も混乱なく進んでいると評価。「デジタル変革」の新たな

うねり。デジタル推進本部を設置し国の方針に基づいてシステムの標準化共通化への準備。オンライン会議の日常化。各種データの電子化、電子による事務処理も。ICT教育。前年度に吉川でも小中学校の児童生徒全員にタブレット型端末の配布。教職員児童生徒、保護者、市教委それぞれが定着に尽力。会計年度任用職員。制度改正2年目。ワクチン接種等臨機の業務に180人が従事。年間延べ580人が参画。一般職員と両輪での働

き。この役割と存在感。働き方改革につながるか注目。

未来会議よしかわ

稲葉 剛治 議員

未来会議よしかわは、市民の方から寄せられる多くの声をもとに、現場に足を運び、状況を確認し、会派内で丁寧にひとつひとつの内容を協議し取りまとめた内容を中原市長、担当部局、職員の方々へつなぎ、予算要望などに盛り込むなどして事業に反映するよう提案をおこなってきました。「第6次総合振興計画」の推進、「DX」分野等の取り組みの前進、各重点テーマ、主要施策について着実な進捗、ウクライナ情勢や為替変動の影響による原油価格や物価の高騰などに対応するため、プレミアム付商品券発行事業、事業者連携発展支援補助金や原油等価格高騰対策支援金の実施等、状況に応じたさまざまな支援策が機動的に展開され、これまで継続的に実施されている事業に加え、

生命(いのち)を守る、生活を支える、地域経済を後押しするという理念のもと、国、県、民間との連携をはじめ、特に庁内での横の連携を重視した事業計画、予算編成を行っていただき評価します。関小学校地区での減災プロジェクトでは学ぶ点、今後の課題が浮き彫りとなった一方で気づきや発見の成果があったと考えます。災害に備えたデジタル活用への推進を今後

公明党吉川市議員団

大泉 日出男 議員



突発的な出来事があった際にも的確に対応し、迅速に動きをとることができる組織運営を高く評価します。

一層期待します。さらには、35人学級の推進、医療的ケアによる看護師の配置、小中学校の体育館等へのエアコン設置の英断も評価します。事業者連携発展支援補助金事業は、新たな付加価値創造や新ビジネスの創出を促し、地域経済を後押しする推進力になったとして評価します。いずれも市民の幸福実感に通じるとして賛成とします。

【国民健康保険特別会計】

国民健康保険特別会計決算に対し、1名の議員が討論をおこないました。

― 反対討論 ―

日本共産党吉川市議員団

雪田 きよみ 議員

国保加入者は減少し、高齢者と傷病者の割合が増え、医療費の負担が更に大きくなる一方で税収は減少。昨年度は負担限度額が引き上げられ、今年度は標準で2万円強の負担増となった。令和9年度に

向けてこの状況は更に深刻になると見込まれている。「これ以上の負担には耐えられない」という声も多く寄せられている。加入者の負担軽減に向け、更にご奮闘いただきたい。

昨年度の滞納者数は662世帯。1年以上1年6カ月未満の滞納者に交付される資格証明書は、16世帯に発行された。資格証明書での受診には10割全額の負担が求められるが、全額を支払い受診できる人は少ない。所得の低い世帯ほど滞納が多いのが現実であり、受療権の侵害に当たる。県内で資格証明書を発行している自治体は22自治体のみ。吉川市もやめるべき。

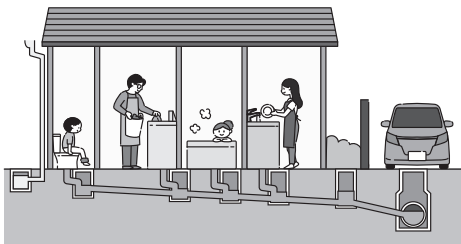


主な議案のあらまし

◆吉川市公共下水道事業の設置に関する条例の一部を改正する条例

農業集落排水事業の経営や資産の状況を正確に把握するため、現在の特別会計から企業会計に移行し、地方公営企業法に規定する財務規定等を適用するものです。

地方公営企業法の財務規定等を適用することで発生主義・複式簿記の会計方式を採用し、経営の見える化を行います。



◆職員の特務勤務手当に関する条例の一部を改正する条例

新型コロナウイルスについて、令和5年5月8日以降「2類相当感染症」から「5類感染症」に変更されたことに伴い、防疫作業手当の特例を改めるものです。

◆吉川市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

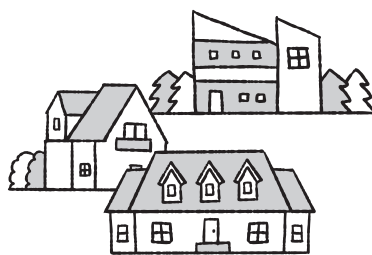
国の法令改正に伴い、条文の文言を整備するとともに、法令から引用している条項番号を改めるものです。

◆吉川市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

ことも家庭庁設置法の施行に伴い、条文の文言を整備するものです。

◆吉川市地区計画区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例

国の法令改正に伴い、市の地区計画区域内における建築物の制限に関する条例で定める建築物の容積率や建ぺい率に関する制限を緩和する改正を行うものです。



◆吉川市災害派遣手当等に関する条例の一部を改正する条例

新型インフルエンザ等対策特別措置法の一部改正に伴い、条文の文言を整備するとともに、法律から引用している条項番号を改めるものです。

委員会審査概要

総務水道常任委員会

◆職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例

コロナが5類相当となり新型コロナウイルスインフルエンザ等対策特別措置法の位置づけとなったとき、防疫作業の特例とはどのような作業を想定しているか。

今後発生する作業について現段階では見込めない。人事院が認める作業などに照らし合わせ対象となる作業を判断する。

賛成全員で可決

◆一般会計補正予算

思いやり駐車場の整備、市内で何力所の整備になるか。それにかかる費用は。

市内35施設を整備、費用は総額で12001万1000円である。

財政調整基金繰入金の補正後の総額は、15億584万9000円である。

賛成全員で可決

◆一般会計決算

時間外勤務手当の増額の理由は。

市民課でのマイナンバーカード交付事務の増加、健康増進課でのワクチン接種事務の継続や特定検診業務、母子保健業務や各課でのイベント業務の再開、新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金を活用した事業の事務量増加によるもの。

「マイチロ」の登録者数の推移は。

令和3年度末で1982名、令和4年度末で2290名となり、年々増加傾向にある。

職員研修について、中堅職

員が5〜6名で集まって発表を行っている」と聞いた。内容は。

課題発見能力や政策形成能力を高めていく研修となっている。令和4年度はSNSなどの情報発信について政策提言をしてもらった。

賛成多数で認定



委員会報告を行う戸田委員長

文教福祉常任委員会

◆一般会計補正予算

思いやり駐車場の整備について、予算計上がされている。どのような考え方が。また、効果についてどう考えるか。

県からの協力要請があり、合意した。不適切な利用を抑制し、利用者証を発行して本来に必要な人が利用しやすくなる。徐々に適正な利用が進んでくると思われる。

賛成全員で可決

◆一般会計決算

市内グループホームは12カ所、総定員67名となっている。今後予想される必要量と現在の差は、また、今後どのように計画していくのか。

来年度以降の障がい者計画・障がい福祉計画の策定にあたり、今年度実施した二一〇調査の結果を現在分析している。この結果を踏まえた数字を計画の中に盛り込んでいく予定である。

部活動の地域移行において、外部指導者は競技力向上のみを指導するという考えか。

これからは部活動指導員のみで指導する場面も出てくることから、競技力の向上のみならず、生徒の健全育成という観点も含めた採用を行わなくてはならない。

いじめについての認知件数、対応、出席停止を検討するような事案は。

いじめの認知件数は、小学生621件、中学生10件。ほぼ対応済み、解決済みの案件と聞いている。出席停止につながるような案件は聞いていない。

賛成多数で認定

◆国民健康保険決算

国民健康保険の負担が重い。今後の国民健康保険の見直しは。

国民健康保険の引上げについて

は、令和5年度から9年度の
間、基金を活用しながら段階
的に引上げていくが、県の動
向を見据えて実施する方向。

賛成多数で認定



委員会報告を行う吉川委員長

建設生活常任委員会

◆一般会計補正予算
施設修繕料の計上だが、施
設に具体的な不具合があつた
のか。

最終処分場に降った雨をろ
過して用水路に流する過機2
台のうち、1台が故障したた
め修繕料の補正予算を要求し
た。

修繕中に不具合は発生しな
いのか。

2台のうち1台が故障して
いる状況だが、1台は稼働し
ており、不具合は生じない。

賛成全員で可決

◆一般会計決算

国の犬のマイクロチップ制
度は災害時を踏まえたものと
認識しているが、発災時に迷
い犬を見つけた場合はどうし
たらよいか。

警察に拾得物として届け出
ていただく。

市民の届け出先として、警
察と行政、どちらが優先か。

まずは警察に届け出ていた
だきたい。

事業者連携発展支援補助金
について、成果と課題につ
いて総括は。

事業者へのコロナ対策事業
については、事業者への丁寧
な聞き取りを通じた制度設計
を行い、本補助金を通じて、
他の分野の事業者との連携に
つながるきっかけとなったと
聞いている。

災害対応について、避難所
運営などの対応に重きを置
いていると考えるが、現場で
は、応急対策や災害を防ぐ措
置についてどのように考え
るか。

災害対応については、令和
元年の東日本台風を契機に、
避難所運営に充てる職員数が
増えているが、先日の大雨の
ように現場対応も必要なこ
とから、自治会で避難所の開
設運営ができるよう避難所開
設運営マニュアルを広く行き
渡らせ、自治会の協力をお願
いしているところである。

賛成多数で認定



委員会報告を行う稲葉委員長

注目の議案

一般会計補正予算
(第4号)

◆障がい者日常生活支援事業
(埼玉県思いやり駐車場
制度) 他13事業
(各施設管理事業)

思いやり駐車場(パーキ
ング・パーミット)制度と
は、障がい者や歩行が困難
な方、妊産婦のための駐車
区画について、利用証を交
付して駐車施設を適正に利
用してもらう制度です。

令和5年3月時点では41
府県で導入されており、埼
玉県でも令和5年11月から
開始します。吉川市もこの
制度に協力するため、整備
に必要な費用を計上するも
のです。



車椅子使用者の様子



質疑がありました

Q. 思いやり駐車場
設置の目的・効果
は。
A. 利用対象者を特
定することで不適
切な利用を防ぐと
ともに、外見から
は障がいがあるこ
とが分かりにくい
方も利用しやす
くなります。
また障がいがあ
る方等にとって、
より一層社会参加
が進み、助け合
いながら地域で安
心して暮らしてい
くことができます。



埼玉県パーキング・パーミット説明会資料より引用

タブレット端末で 登下校時の荷物の軽量化を



中嶋 通治

問 小中学生の登下校時の荷物が重い。専門医からも特に、低学年に関しては荷物の重さが子どもの健康を損なうとある。文部科学省による通知「児童生徒の携行品に係る配慮について」当市ではどのような取り組みをしているのか。

答 置き勉を実施してきた。具体的に「家庭学習で使用しない教科書、ノート等を置いて帰る」「書写セットでは、筆だけ持ち帰る」「週末や学期末は、一度に持ち帰る事が無いよう計画的に持ち帰る」等学校として統一して実施している。持ち帰りのさらなる見直しや、AIドリル等を活用した紙ドリル等に代わる課題の出し方などの研究を進め、引き続き登下校時の負担軽減に努める。

◆職員の名札は名字だけの表記に

問 インターネット等で名札などから姓名が公開されるなど、個人のプライバシーが侵害される懸念がある。名札をフルネームの表記から名字のみの平仮名にするのはいかがか。

答 市民への伝わりやすさを考慮し、表記の方法を変更する。

「治水対策」への 取り組みを全力で！



稲垣 茂行

問 安全・安心のまちづくりの前提は、治水対策。吉川駅北口「第一排水区」は、木売落しを2層構造化して貯留する計画から、共保ポンプ場の能力を30%アップして中川に放流する計画に変更されたが進捗は。また、南中学校周辺地区の「上第2大場川」整備状況は。

答 江戸川河川事務所と放水量増加について協議し、関連する協議を東京電力、県とも行っている。上第2大場川整備は、計画延長660mに対して3月末で275mが完了。進捗率は約42%。

問 都市化が始まった昭和40年代まで、雨水の受け皿は「田んぼ」。吉川市の地理的特性や近年のゲリラ豪雨の発生状況からみると、河川への放流のみに頼るのは危険。治水対策の基本は調整池・調節池の設置と考えるが。

答 調整池・調節池の設置は、効果的であると認識している。しかし、池の整備とともに導水管路整備など、技術的な課題がある。

市長 木売落し2層構造化は、市長になったときすでに計画されていた。再度、代案も検討・精査したが中川への放流が現実的で、国の資金を活用できることから決定した。

答えて市長！ 一般質問

今回の定例会では、9月20日(水)、21日(木)、22日(金)の3日間にわたり18名の議員が市政全般について、市の見解をたどりました。主な内容を質問者が要約してお知らせします。詳細は会議録をご覧ください。

会議録は、ホームページや市立図書館で閲覧できますが、今回の定例会の会議録の提供は、12月上旬となる予定です。



浸水・冠水対策に調節池を 課題多く情報集め調査研究



降旗 聡

問 6月、台風2号の影響に伴う大雨で市内各地で浸水被害が発生した。吉川駅北口周辺地域と南中学校周辺地区は、昭和40、50年代からの開発により住宅建設が進む一方で、治水事業が十分でなかった。

治水対策として調節池（中央公民館南側などへ）が必要だと考えるが、市の考えについて。

答 雨水を一時的に貯留する調整池と、河川の水位上昇を抑制する調節池は、治水対策に効果的であると認識している。しかし、区域内で降った雨は区域内で溜める原則や、池の整備と共に導水管路の整備が必要になるなど、技術的なことを含めて多くの課題がある。

今後は、近隣自治体や中川・綾瀬川流域治水協議会から、先進事例の情報収集を行う中で調査研究していく。

問 国は、浸水被害軽減に向けた地下空間活用について、勉強会を発足した。国の動向を注視して何ができるか検討してもらいたい。

答 排水区の見直しや集積面積、貯留量のバランス、施工方法、住宅街における工事であることなど、慎重に研究しなければならない。

**LINEアプリ・戸別受信機の
導入で災害情報発信を**



小野 潔

問 ①高齢者・要配慮者への避難指示は極力足元の明るいうちに。②防災・減災、子育て支援、イベント、お知らせ等のセグメント方式のLINEアプリの導入で情報発信を。③防災行政無線が聞こえないとの声。防災ラジオ型式等の戸別受信機を希望世帯に配布する制度構築を。④防災行政無線が聞こえない世帯に対し内容が確認できる電話応答サービスの電話番号を名刺サイズのマグネットタイプにして全世帯へ配布しては。また、同サイズの防災・減災情報を財布に入れて持ち歩けるように。⑤重くて持ち運びが困難との声。土のうステーションを見直して、水のうの利用促進を図っては。⑥冠水・通行止め情報を過去の経験に基づき雨量50mm以上、以下で冠水箇所予測図を作成して掲載しては。

答 ①安全を最優先して判断する。②戸別受信機等の情報収集に努める。③有効性の高い情報ツールと考え他市の情報を収集し検討する。④既に昨年マグネットステッカー3種類を作成した。防災行政無線が聞こえない世帯に工夫して周知したい。⑤自助、共助の観点から考えたい。⑥ホームページ掲載内容をより精査する。

**自治会の現状
自治会活動支援について**



赤出川 義夫

問 自治会の加入率10年間の推移は。

答 10年前、平成24年度75.8%だったが、令和4年度63.4%と12.4%減少している。

問 地域活動のデジタル化、市内での取り組みは。

答 ホームページによる活動報告をはじめ、SNSを活用した役員会の開催や電子回覧板として自治会支援ツールを活用している事例がある。今後の市の取り組みは、他の自治会の事例などを紹介していくとともに、国の地域コミュニティに関する資料によると、地域活動のデジタル化は災害時の安否確認や情報伝達にも有効であり、他市の先進事例などについて調査研究していきたい。市内での自治会活動支援ツールの活用事例として、木売町会で民間のシステムを活用し、回覧・イベント・役員会のお知らせ、会議録の送信に使っていると聞いている。

気象に関する注意喚起、避難所への誘導、災害時における所在確認の活用に向け取り組みを進めていると聞いている。美南1区自治会ではLINEを活用し定例会、イベントのお知らせを行っていると言っている。

**障がい者福祉施策の
さらなる推進を**



五十嵐 恵千子

問 第4次吉川市障がい者計画の推進結果を踏まえ、新たな計画が策定中と認識している。

①グループホーム設置の利用状況や今後のあり方について市の考えは。②市内の強度行動障がい者の状況は。③障がいのある子どもへの性教育は。④本市はいち早く再犯防止推進計画が策定されたが障がい者の再犯防止への取り組みは。

答 ①平成26年度にNPO法人により1施設5人の定員で設置。現在、法人や株式会社により14施設74人の定員と増えた。今後も利用ニーズの高まりがあるので民間で設置を促進する。②明確ではないが強度行動障がい等の加算がある方は31人。グループホーム利用者は無し、受け入れ可能な施設は1カ所ある。③通常学級も特別支援学級も学習指導要領に沿って同じ内容を行う。大事なことから自立支援協議会の担当部会でテーマとして研究する。④更生保護活動の支援や各団体と連携し支援の提供に努める。

◆介護ボランティアポイント制度の拡充を

問 当該事業の実績と今後の拡充を積極的に。

答 昨年度は41事業62人に付与。拡充を図る。

**災害時における非常用電源
について**



大泉 日出男

問 昨今の天候不順、豪雨災害に代表されるように予測不能の事態が身近になっている。災害によって市内では、どのような手順で業務が継続され、何時間の運用がされているのか。

答 自家発電装置を設置しており、継続的に空調や事業を運用できることになっている。石油組合とも連携し、72時間の稼働確保している。

問 人工透析や酸素吸入器など医療的な要配慮者、在宅透析患者を対象に自家発電装置や蓄電池の購入助成は検討してほしい。越谷市では日常生活用具として、給付種目が追加された背景もある。市の見解は。

答 現在、さまざまな支援サービスがされており状況が異なる。全ての医療的な配慮が必要な方と連携しながら継続的に検討していく。

問 非常用電源にもなりうる「独立電源型街路灯」の設置事例が多い。災害を風化させないシンボルと防災教育の意味合いがあるが、当市での防災教育はどのような考えのもと実施されているのか。

答 市では、特に減災教育の推進に努めている。今後も一層の啓発活動に取り組んでいく。

吉川美南駅前公園の 利活用について

菊名 克典



問 イベント関係以外では、どのような利活用を考えていますか。

答 公園は地域の憩いの場や、交流の場とともに災害における防災・減災空間等の多面的な機能を有しています。また、個人や団体の皆様の様々な目的に応じてご利用いただいているため、これらの機能が損なわれないように引き続き適切な維持・管理に努めていきます。

問 イベント告知板を設置し、市民・市民以外の方に宣伝周知するのはいかがでしょうか。

答 イベントの周知に関してはさまざまな意見がありますが、市としては吉川美南駅前公園も含め、市内の公園に告知板を常時設置する予定はありません。しかし、公園を利用する団体や民間企業等から告知板の一時的な設置の相談があった際は、公園内の利用に支障がないか確認の上、判断をしていきます。

「学校教育」の充実を

戸田 馨



問 人より突出して勉強や芸術、運動、リーダーシップなどで才能を持つ「ギフテッド」と呼ばれる人々。知能指数が高だけでなく、様々な分野で優れた才能を持っているが、発達に課題を持つ場合も多く、それゆえに人間関係が築けない、環境になじめないなどの繊細な悩みも抱えることもある。そうした特性を持つ児童生徒に対する市の対応と現状は。市やそれぞれの学校だけで対応を図るのではなく、専門機関や民間とも連携をとる必要性があると考えが見解は。

答 アメリカ等、諸外国では調査研究が進んでいるが、日本においてはようやく有識者会議がスタートしたところ。吉川市においては「ギフテッド」の具体的な報告はないが、「ギフテッド」は全体の2%と言われており、当市においても同等数いると考えられる。今後国の動向をみながら研究を進めると共に、特別な才能を持つ児童生徒も含め、全ての子供達の学びに対する充実を図ることが重要。子供達一人ひとりの特性に合わせた環境の場を選択できるよう、対応を図りたい。

橋梁下八間10号の 安全対策を

吉川 敏幸



問 川藤地内、橋梁下八間10号の欄干の高さは約65cmと周辺の橋梁と比べ低く、一部腐食している。国土交通省によれば、転落防止柵の標準は110cmとなっている。しっかりとした転落防止柵が必要と考えるが、市の見解を伺う。また、今後5年以内に早期に措置を講ずべき状態（区分Ⅲ）に移行するだろうと認識している橋は、市内にどれくらいあるのか。

答 防護柵について、現状の中ででき得る応急的な対策を考えていきたい。また、区分Ⅲに移行するであろう橋は、令和10年度までに20橋になる。

◆江戸川堤防下の道路整備を

問 事故が多発している江戸川土手下の道路だが、速度規制を設ける考えは。また、近年でどれくらいの事故を認識しているのか。

答 吉川警察署によれば、玉葉橋付近から三郷市との市境までの吉川市道における交通事故は過去3年で約400件発生している。現在、吉川警察署と速度規制も含めた対策の意見交換を行っている。

保育園に通う保護者の 保育サービス利用拡充を

林 美希



問 保育園に通うこどもの保護者の休みが平日の場合、こどもが通園できる日は週に3回程度。集団生活における人間関係の形成に影響があり、特に就学を間近に控えた4・5歳児が通園リズムを作れないまま進学することとなる。「原則預からない」という明記の取り下げを求めるが見解は。

答 保育所は保護者の労働または疾病その他の事由で、保育を必要とする場合に家庭に代わってこどもを保育する児童福祉法に位置づけられた児童福祉施設である。一方、各保育所では保護者の仕事が休みであっても、登園を促していることもあると承知している。引き続き、こどもの最善の利益と成長を考慮し、保育制度や他の自治体の動向を注視していく。

問 リフレッシュ保育サービスは保育園に通っているこどもは利用できない。就労状況によらず、どの保護者も同じ条件で利用できるサービスと考えるが見解を伺う。

答 伴走型支援の観点からリフレッシュ保育利用回数引き上げや受け皿の確保等の充実について検討し、その中であり方について考える。

総合体育館の長寿命化計画 の進捗状況と予定について

成本 直寛



問 総合体育館の長寿命化計画に基づく改修工事現在の進捗状況、予定している工事内容、体育館を利用できない期間、工事完了の時期、利用者への周知について伺う。

答 本年度中に設計を行い、令和6年度の工事実施を予定している。外壁・設備改修・大体育室の空調機設置・フットサル対応設備・音響設備・省エネ化への対応を予定している。工事のスケジュールや完了時期は未定ではあるが、利用者への影響が最小限になるよう努めるとともに、利用不可の期間が明らかになった際は速やかに周知していく。

◆道庭緑地沿いの構想路線について

問 吉川市都市計画マスタープランの南部地域整備方針図によると、道庭緑地沿いに主要幹線道路（構想路線）が記されている。進捗状況や近隣自治体との協議の経過について伺う。

答 埼玉県および近隣市と、計画の位置づけや周辺土地利用状況・交通状況の確認等の情報交換を行っている。実現に向けてはさまざまな課題があるが、長期的な視点で考えていく。

市内アカミミガメの 生息状況の把握を

飯島 正義



問 アカミミガメは令和5年6月1日から条件付特定外来生物に指定され、野外への放出等が禁止されました。市民の方から、「新栄一丁目東側に流れる大場川にたくさんのアカミミガメが生息している」「中井沼公園のハナショウブやハスが食べられているのではないか」という声が寄せられました。市の認識と今後の調査等の取り組みを伺います。

答 アカミミガメによる被害がないため、市内の調査は考えていません。中井沼のハスが減少しているとはっきり特定できていませんが、そのような情報については施設管理者と情報共有していきたいと考えております。

◆自転車用ヘルメット購入に補助制度の導入を

問 令和5年4月から、自転車のヘルメット着用が努力義務となりました。市民の方の関心も高く、問い合わせや要望等も寄せられています。市内在住のすべての方を対象に購入補助の導入を求めるのがいかがでしょうか。

答 補助の場合、費用対効果、継続性というものも考えていく必要があると考えております。

子育て支援について

岩崎 小百合



問 本年4月に、国はこどもが自立し等しく健やかに成長することのできる社会の実現に向け、こども家庭庁を創設した。「こどもまんなか社会の実現」を掲げ全てのこどもや若者たちが幸せに暮らせるように、最もよいことは何かを考えた取り組みを国の中心に置いていくとしている。5市1町では越谷市、草加市、三郷市が国の「こどもまんなか宣言」の趣旨に賛同し、「こどもまんなか応援サポーター宣言」をしている。今後、市として取り組む予定はあるか。

答 市はこれまで、妊娠から出産・その後の子育て支援まで切れ目が出ないよう事業展開を図り、宣言の趣旨である、こども達を応援するための各種取り組みを行っている。宣言の趣旨は理解しているが、すぐに取り組む予定はない。

問 市のホームページのトップページを子育て世代に寄り添ったものにリニューアルする予定はあるか。他市では、トップページに市公式のSNS等ソーシャルメディアのリンク先が掲載されている所がある。検討はされているか。

答 大幅な変更予定はないが調査研究をする。

水害のないまち吉川へ、 豊かで夢のある吉川づくり

齋藤 詔治



問 6月発生の台風2号で本市に多大な被害が発生。いずれの地域も被害が恒常化している。浸水地域へ広大な農地を活用した実効性のある総合治水対策が急務。第一排水区（吉川駅北口から吉川二丁目まで、木売落し西側3万5千トンの雨水）木売落し2層化計画は、当初工事費35億円が58億円に増大になり中止。代替案として、既存の共保ポンプ場の増強工事約22億円と説明。被害を精査し、より実効性のある費用対効果を鑑みた総合治水対策への取り組みは。

答 第一排水区治水対策は、共保雨水ポンプ増強の効果により、費用対効果の観点から国が管轄する江戸川河川事務所と協議を実施している。

問 須賀・榎戸地区は、越谷総合公園川藤線の整備・東埼玉道路ICの設置・中川河川改修に伴う新川橋補修整備等の多くの事業が計画されている。これらの事業と連携した治水対策への取り組みとして、国・県・他市町とどのような協議をしているのか。

答 当地域は中川・綾瀬川流域を中心とした内水被害が発生。今後、春日部市を含む県南東部6市1町と県による協議会が予定されている。

**近隣精神科病院の提訴と
再発予防に向けて**



雪田 きよみ

問 市は今年4月、近隣の精神科病院を提訴したが、進捗状況は。

答 4月19日、診療報酬返還1058万2908円及び年3%の損害遅延金、訴訟費用の支払いを求める訴状を埼玉地方裁判所越谷支部に提出した。

問 看護基準を満たさず診療報酬を請求し、返還金が発生したとのこと。再発予防についての考えは。

答 厚生労働省関東信越厚生局長が実施した調査により、診療報酬の不当請求が発覚した。

市は医療機関の運営基準が順守されているか知り得ない。説明責任・再発防止の観点から返還金の回収に努めることが重要と判断し、提訴した。

問 モラルハザードについても懸念。看護基準を満たしていなければ、患者にしわ寄せが行くリスクは高い。身体拘束や不必要な投薬など、入院患者の人権が本当に守られていたのかという問題にも繋がりがかねない。確認すべきでは。

答 厚生労働省も重く受け止めており、指導監督の強化は考えていただけている。

**密集地は各地区に防災計画
新興住宅地は在宅避難に！**



伊藤 正勝

問 関東大震災では倒壊より火災で大勢が犠牲になった。国は住宅密集地では地区ごとに防災計画を作るよう要請。新興住宅地等は在宅避難の考えをと指導している。実状と見解を。

答 吉川では14の自主防災組織で地区計画を策定。これらの計画の充実、支援に努めるとともに自助共助、公助の力が発揮できるように考えたい。在宅避難については安全であれば有効な避難行動になる。その場合食料生活用品、簡易トイレ等も必要になるので周知を図りたい。

◆中学生は防災の担い手に

問 東京都荒川区では中学生を災害時の担い手に位置づけ、日常の訓練に努めているが。

答 市でも中学生は防災の担い手と考えている。中学2年生を対象に避難所での資機材の組み立てや操作訓練。減災教育も実施している。

問 防災の要は市役所の職員。市内在住者の割合は。男女の比率も。

答 市内は44%。市外56%。男女比は男性56%女性44%。約69%の職員は1時間以内に参集できる範囲に居住している。

**共保ポンプ場増強で吉川駅
北側地域の浸水対策は**



遠藤 義法

問 吉川駅北側の地域は、台風や豪雨でたびたび冠水しています。市は、共保ポンプ場の増強で浸水被害を軽減できるか、流出解析を行ってきました。その結論と今後の事業実施をお聞きます。

答 分析の結果、①中川の水位が高いことから、常に排水管渠内に水が溜まっている状態です。水をなくしておく必要があることから、共保ポンプ場内に低い水位の状態でも排水可能な横軸型のポンプを設置し、管渠の水をなくす措置をとります。②一部の地域で管渠内の布設替えが必要なことが判明したことから、延長890m工事を進める計画です。これらの事業を行うことで、浸水被害の軽減が期待できます。

◆大雨対策と今後の施策は

問 6月2日・3日の大雨に対する対応と、須賀地域のポンプ設置などについて伺います。

答 国の情報提供以前から対応にあたっており、職員体制の遅れはありませんでした。須賀地域の冠水対策として購入した移動式ポンプや可動式ポンプ3台の配置などで今後対応します。

傍聴時のお願い

本会議は午前10時・委員会は午前9時30分
から開会します。
傍聴の際は、次のことにご注意ください。

- ◆ 会議中はお静かにお願いします（騒ぎ立てること、議事を妨げること、拍手で可否を表明することなどはしないでください）。
- ◆ スマートフォン等の電子機器の電源はお切りください。
- ◆ 会議中の録音や撮影はしないでください。
- ◆ その他、係員の指示にご協力ください。



請願

学校給食費の無償化を 求める請願

提出者 「学校給食費の無償化を求
める吉川連絡会」

代表 渡邊 勝徳

他1201名

紹介議員 遠藤 義法 議員

飯島 正義 議員

【要旨】

吉川市立小中学校に通う児童生徒の給食費を無償にしてください。

国や県に対して、小中学校等の給食費を無償化するよう働きかけてください。

【理由】

物価の高騰が私たちの暮らしを直撃しています。特に所得の少ない子育て世代への影響は深刻です。「お米さえ買えない」という声も寄せられています。すべての子どもが一日3回の食事を摂り、健やかに発育・発達できる

ように保障することがいま求められています。学校給食費を無償にすることは、今すぐにもできる子育てへの直接支援だと考えます。

少子化がいよいよ深刻な状況になってきました。その原因は複雑で決して一つではありませんが、非正規雇用や奨学金返済などにより、子育て世代は極めて厳しい経済状況にあります。日本の子育ては特に教育費の負担が大きく、若者が結婚や出産をためらう大きな要素の一つと言われています。学校給食費を無償化して保護者の経済的負担を軽減することは、大きな意義をもつものだと考えます。

憲法26条は「教育の無償」と掲げています。また学校給食法第一条は「学校給食は食育である」と定めています。第二条、学校給食の目標に「環境の保全に寄与する態度を養う」「勤労を重んずる態度を養う」「伝統的食文化への理解」等が盛り込まれ、食育としての役割は非常に大きくなっています。

こうした状況に鑑み、小中学校に通う児童生徒の給食費を無償にすることと国や県に対して小中学校等の給食費を無償化するように働きかけることが大切なことと考えます。

本請願は、付託された文教福祉常任委員会で趣旨採択※が提案され、賛成多数で「趣旨採択」と決定しました。

【提案理由】

市単費による学校給食費無償化は財源の確保、持続可能性、質の担保といった観点から実現困難と考えるため、本請願を趣旨採択することを提案します。



本会議では趣旨採択に対して、3名が討論を行いました。

— 反対討論 —

日本共産党吉川市議員団

雪田 きよみ 議員

請願は市に対し給食費無償化を求めるとともに、国や県にも働きかけるよう求めている。市の単費での恒久的な無償化だけを求めているのではない。無償化は今、全国491自治体に広がった。子育て支援にどれだけ予算を組むか、市の姿勢にかかっている。

— 賛成討論 —

公明党吉川市議員

小野 潔 議員

無償化に伴う市の新たな財源措置は約3億3千万円が必要となる。給食センター運営維持費8億3千万円、公費負担額5億円、財政上難しい。公明党として国会議員へ既に伝えさせていただいた。国で議論を重ねてほしい。よって趣旨採択に賛成する。

未来会議よしかわ

林 美希 議員

給食費無償化の自治体数を挙げられていたが、その数字は時限的に実施している自治体も含まれている。国の臨時交付金が原資と見え、実施自治体数の評価は今後の動きを見る必要があると考える。請願者の願意を汲み、趣旨採択に賛成とする。

賛成多数で趣旨採択

用語解説 ※趣旨採択とは？

願意は妥当だが、実現性の面で確信が持てない場合に、不採択とすることもできない請願に対して採る決定の方法。

9月定例会審議結果一覧

○=賛成、×=反対、議=議長(議決に加わりません)
◎=議案提出者、- =退席

	議決結果	自由民主党				市民の会				未来会議			共産		公明		無	無			
		赤出川 義夫	吉川 敏幸	菊名 克典	中嶋 通治	松崎 誠	岩崎 小百合	稲垣 茂行	伊藤 正勝	齋藤 詔治	稲葉 剛治	戸田 馨	林 美希	遠藤 義法	飯島 正義	雪田 きよみ	小野 潔	五十嵐 恵千子	大泉 日出男	成本 直寛	降旗 聡
〈市長提出議案〉																					
吉川地区計画区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉川市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉川市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉川市公共下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉川市災害派遣手当等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度吉川市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○
令和4年度吉川市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○
令和4年度吉川市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度吉川市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○
令和4年度吉川市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○
令和4年度吉川市吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	議	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度吉川市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	可決及び認定	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度吉川市下水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度吉川市一般会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度吉川市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

	議決結果	自由民主党				市民の会			未来会議			共産		公明		無	無				
		赤出川 義夫	吉川 敏幸	菊名 克典	中嶋 通治	松崎 誠	岩崎 小百合	稲垣 茂行	伊藤 正勝	齋藤 詔治	稲葉 剛治	戸田 馨	林 美希	遠藤 義法	飯島 正義	雪田 きよみ	小野 潔	五十嵐恵千子	大泉 日出男	成本 直寛	降旗 聡
令和5年度吉川市介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度吉川市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度吉川市吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
《請願》																					
学校給食費の無償化を求める請願	趣旨採択※	○	○	○	○	議	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○
《議員提出議案》																					
放射能汚染水（ALPS 処理水）の海洋放出の中止を求める意見書	否決	×	×	×	×	議	○	×	×	×	×	×	○	○	◎	×	×	×	×	×	

会派名の「自由民主党」は「自由民主党吉川市議員団」、「市民の会」は「市民の会・無所属」、「未来会議」は「未来会議よしかわ」、「共産」は「日本共産党吉川市議員団」、「公明」は「公明党吉川市議団」、の略です。「無」は会派に属さないものです。

※常任委員会の審査で「趣旨採択」とされたため、本会議でもその可否について採決を行いました。詳細は13ページをご覧ください。

**会議録の冊子は
本会議・委員会ともに次の場所
で閲覧できます**

市立図書館、視聴覚ライブラリー、
中央公民館図書室、旭地区センター図書室、
議会図書室、市政情報コーナー


**◆ご意見・ご感想を
お寄せください◆**

議会だよりをご覧になったご意見・
ご感想をお寄せください。

〒342-8501
吉川市きよみ野一丁目1番地
吉川市役所 議会事務局
FAX・048(981)5392

**ホームページ、
ぜひご利用ください！**

市のホームページでは、意見書の全文や本会議の会議録、議会活動などがご覧いただけます。ぜひ、ご利用ください。



吉川市議会

次定例会の予定 市の重要な施策や皆さんに身近な問題が審議されます

日	月	火	水	木	金	土
<p>本会議は10時、委員会は9時30分に開会します。 本会議の様子はインターネットでもご覧いただけます。</p>					<p>12月1日 本会議 (開会日)</p>	<p>12月2日 休会日</p>
<p>12月3日 休会日</p>	<p>12月4日 休会日 (議案調査)</p>	<p>12月5日 本会議 (議案審議)</p>	<p>12月6日 委員会 (総務水道・文教福祉)</p>	<p>12月7日 委員会 (建設生活)</p>	<p>12月8日 委員会 (請願審査)</p>	<p>12月9日 休会日</p>
<p>12月10日 休会日</p>	<p>12月11日 休会日 (委員長報告作成日)</p>	<p>12月12日 本会議 (委員長報告)</p>	<p>12月13日 本会議 (一般質問)</p>	<p>12月14日 本会議 (一般質問)</p>	<p>12月15日 本会議 (一般質問・閉会日)</p>	

「よしかわ議会だより」の音声版を「朗読サークルきんもくせい」の協力で作成しています。
ご希望の方は、議会事務局へご連絡ください。

表紙の写真

10月7～8日、市内各小学校で4年ぶりに市民体育祭が開催され、天候にも恵まれまじた。老若男女を問わず、参加者の誰もが生き生きと競技を楽しみ、「楽しかった」「来て良かった」との感想をたくさん聞きました。多くの自治会で会員減少の悩みを抱えているかと思いますが、競技を通して知らない人同士がふれあい、親しくなる機会にもなったかと思えます。地域での集いの大切さを改めて感じるひと時でした。



編集後記

秋の果物がおいしい季節ですね。今年もあと2か月となりました。9月定例会は「決算の議会」とも言われ、今回の定例会では令和4年度の歳入歳出予算の執行の実績である「決算」について議会がその内容を確認し、収入・支出が適法かつ正当に行われたかを審査しました。また、18名の議員が子育て・教育・介護・治水・防災等、さまざまなテーマで市政に対する一般質問を行いました。

議会で審議される議案や質問のテーマは、いずれも市民生活に直結する大事なものです。これからも活発な議会活動を市民の皆様にはわかりやすくお伝えし、ご理解いただけるよう紙面づくりに努めてまいります。

松崎 誠